



# 健康会だより

<主旨と理念>

長谷部式健康会は『自分の健康は自分の努力で』をスローガンに健康普及活動をしている会です。健康は人生最高の宝です。世界人類の健康と平和に奉仕しましょう。『体質別』は健康を守る自然の法則です。

発行所 長谷部式健康会 総本部

〒491-0905

愛知県一宮市平和1丁目2-13

発行人 長谷部茂人

発行部数 3000部

TEL 0586-46-1258

E-mail kenko@world.interq.or.jp  
HP http://www.interq.or.jp/world/kenko/

## 全体は部分の総和ではない



お正月の楽しみの一つ  
福笑い。

目はここで、・・・口はここで、・・・  
さて、仕上げはこれでいいのかな？

### 部分と全体性

南アフリカの哲学者ジャン・クリスチャン・スマッツ (Jan Cristian Smuts:1870 ~1950) は、哲学用語としての「ホーリズム (Holism)」をはじめて提唱しました。彼は著書『全体論と進化 (Holism and Evolution)』(1926) の中で、「部分を綿密に研究し、部分をいくら積み重ねていっても、決して全体には到達できない。なぜなら全体というのは、部分の総和よりもはるかに大きいものだからである」と主張しました。

アトミズムが全体は部分 (要素) の算術的総和と考えるのに対し、ホーリズムは部分 (要素) は全体の体系的脈絡の中で規定されると考えるのです。尚、ホーリズムという言葉自体は「全体」を意味するギリシア語「ホロス (holos)」に由来しています。

繰り返しになりますが、「部分を足し算すれば全体になるのではなく、全体には全体性という計り知れないはたらきがある」と捉えるのです。

上の絵はお正月の楽しみの一つ、福笑いです。目隠しされた人が、顔の各パーツを顔の枠が書かれた下絵の上に置いてゆきます。目隠しをとったその瞬間、目や鼻の位置が少しずれただけでも「ワッハッハ」となる。部分であるパーツはすべて揃っていません。モノとしてあるというだけでは、全体には成りえない福笑いの例でした。

### 人間のからだ、その身体組成

人のからだは何でできているのでしょうか？その組成を考えてみます。



### ヒトの身体の平均的組成

■組織レベル	骨格筋	脂肪組織	骨	血液	その他
■細胞レベル	細胞質		細胞外液	細胞外の個形体	
■分子レベル	水分 60%		脂質 19%	蛋白質 15%	その他
■元素レベル	酸素 60%		炭素 23%	水素 10%	その他

人のからだを組織レベルで見ますと、筋肉・脂肪・骨・血液等々などに分けられます。もちろん個体差はあります。平均的な傾向として、筋量の割合は男性では体重の 45%程度、女性では 36%程度、また骨量も男性は体重の 15%程度、女性は 12%程度と、いずれも男性の割合が高くなっています。

細胞レベルでは核を持った細胞としてあるのか、それ以外の細胞ではない質量としてあるのかという分類ができます。さらに分子レベルで見ますと、わたしたちのからだの約 60%が水分で、筋肉や器官をつくる源であるタンパク質が約 15%、脂肪細胞に蓄えられたエネルギー源としての脂質が約 19%、その他のミネラル等という分け方も成り立ちます。

最も直接的に元素レベル、つまり「何でできているか」を考えますと、およそ酸素 (O) が 60%、炭素 (C) が 23%、水素 (H) が 10%、その他となります。

この辺までくると理解がややこしくなります。これらの元素は組織にも、分子にも、また細胞内外にも跨って存在します。モノは同じでも存在する場所の違いで、組成に違いができてそして役割が変わるのです。

わたしたちのからだは、全体性で保たれていて、部分はその全体からのメッセージを受けたかたちで機能する、いわゆるホーリズムに従っているように考えられます。

よくよく考えてみますと、それはからだに限らず、人間そのものが家族において、会社において、コミュニティーや国家というレベルにおいてさえ全体性をなくしては存在しません。また部分からみるとするならば、同じ人でも場所や場面が違えば、演じる役割が違うように、全体の中の一人分の役割をそれぞれ使い分けしているだけではないでしょうか。

それでは何が全体なのか？どこまでを全体と呼ぶのか？一体全体わたしたちはどういう全体の構成員なのでしょう。生まれてきたのはどこの世界か、おもいきり大きく宇宙の存在まで考えてみま

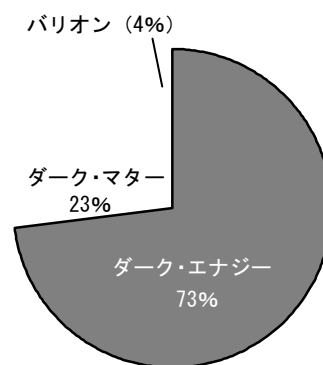


## 宇宙の組成はどうなっているのか？

東京大学大学院理学系研究科助教授の須藤靖氏は、近年、「宇宙の古文書をひもとく」という講演の中で「全宇宙の成分は何か？」について語られました。

・・・宇宙の構成物質は、「モノ」としての既知の物質「重粒子バリオン (baryon)」は、全体のたがだか 4%に過ぎず、23%が「暗黒物質 ダーク・マター (dark matter)」、残り 73%は正体不明の「暗黒エネルギー ダーク・エネルギー (dark energy)」が占めているという衝撃的な結論です。暗黒物質は、おそらく質量を持った未知の素粒子であろうと考えられています。一方、暗黒エネルギーは、局所的に群れ集まるというよりは、宇宙全体を一様に満たしているような存在です。・・・

宇宙の組成



バリオン：「モノ」として見える世界

ダーク・マター：未知だが、いずれ解明されるであろうと思われる「モノ」の世界

ダーク・エネルギー：「モノ」ではないとされるエネルギーの世界

暗黒エネルギー？わかるような、わからないような話ですが、宇宙はカタチ有るモノ 4%と、有るらしいモノ 23%を足しても 27%にしかなく、カタチのないモノが 7割以上を占拠しているということだけははいえそうです。

それではこの地球は？人間は？どうでしょうか。

わたしたちは空気をさして「何もない」という表現をすることがあります。科学的には空気というモノ、それは窒素や酸素や二酸化炭素が含まれているモノなのですが、自分達にとって重みを感じないものは何もないように思えるのです。

ほとんどの人がモノサシの違いで有る無しを言っているのです。先ほどのダーク・エネルギーも、科学者は「何もない」とは言っていません。そこにはエネルギーがあるのだと・・・。

そうするとおかしなことが起きます。20世紀の大発見であるアインシュタイン博士の相対性理論では  $E=mc^2$  となっていて、エネルギーと質量は等価の関係にあることになっています。エネルギーあるものは質量に属さないといけない。

$$E(\text{エネルギー}) = m(\text{質量}) \times c^2(\text{光の速度})$$

であるのにエネルギーだけが別個に存在していて、由来する質量は正体不明というのは一体全体、どのように理解したらよいのでしょうか。「有る」のだったら「出せる」はずだ。出せないなら「無い」とどう違う？

私のような凡人は、夕飯前に冷蔵庫にビールのつまみが入っていなかったら、「冷蔵庫には何も無い」と表現します。出せなければ無いのであって、ダーク・エナジーの問題じゃない！おそらく皆さんも、もっと身近なところで、有るとか無いとか言っていることだと思います。

俗人の有る無し基準は低レベルのようですが、最先端の宇宙物理学の世界でもまあ～だ、まあ～だ、「解りました」とは到底言えない。モノを追求すると到達するところは、「カタチとしては無い世界」を説明しないといけないからです。有るけれど無い… 無いけれど有る… 苦しい説明です。

ところで、4分の3がモノが無い世界が宇宙全体だとしたら、ホーリズムでいうところの全体性は何をさすのでしょうか。無いものからのメッセージなのか、エネルギー体からのメッセージなのか？…。無いモノやエネルギー体にもどのような意味があるのでしょうか。

それは先々号でもお伝えしたように、宇宙の由来である「無の存在」です。宇宙は無から生まれたと予想されています。そして高次元のエネルギーを伴いながら物質化していった。さらに時系列の変遷は各々多様性を持つようになり、あまねく宇宙の塵をつくっていきました。その末裔が太陽であり、地球であり、人間なのです。

私たちが見ている宇宙も、私たちのからだも「無」に由来していると言いたい。…お父さんとお母さんが出会わなかったら、私という存在は無かったという事実は言うまでもない。



中国の遠く古い昔、老子という人がいたそうです。いたそうだと申しますのは、いたらしいというだけで、実際の存在は確認されていないからです。「子」というのは「先生」という意味ですから、老子を日本語に訳すと「老いた先生」になります。どうも伝説の人の雰囲気強いようです。

その老子が遺した書物の中に、このような記載があります。

道生一、一生二、二生三、三生万物。万物負陰而抱陽、沖氣以為和。(老子「道德経」42章)

【道が一を生み、一が二を生み、二が三を生んで、三が万物を生み出す。万物は陰を担ぎ陽を抱き、沖の気の干渉によって調和を為す。】

一が二を、二が三へそして万物をつくる。陰と陽は気の干渉で調和している。干渉を受ける陰陽は万物にあるが、その万物のものは一つであり、その一つのもとは「道」であるという。

この場合の「道」は、モノではないことは確かです。だから陰陽の太極も生まれることができる。モノだったらそれは陰か陽か、はたまたその中間か、何かに属さないといけなくなるからです。

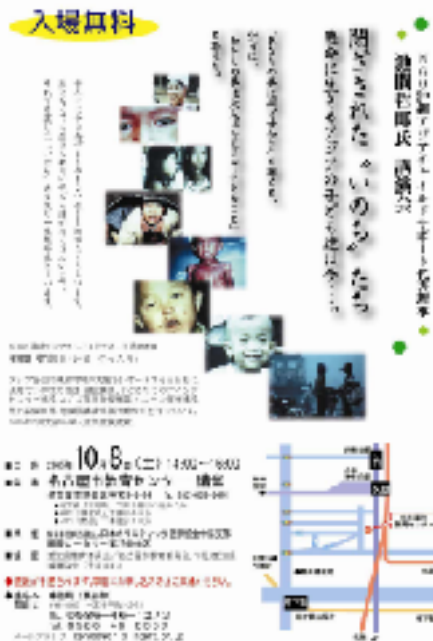
要するに老子はモノでない「道」が最初にあって、それが枝分かれするようにモノとして現われ、そして陰陽の性質を持ちながら調和したのが、わたしたちの世界であると説いている。



老子の「道」、宇宙の「有と無」、人体組成の「共働」、それぞれ何か計り知れない、また目に見えず計測できない働きが、部分においてそうさせている…としか思えません。

わたしたちは多様化する部分の世界に住んでいます。部分を精緻に探れば、集合体としての全体が理解できるという考え方も必要でしょう。しかし、全体がどうあるべきかを考えれば、部分のありかたも見えてくるように思います。

部分が揃えば良しとするのは、福笑いでとどめておきたいものです。



NGO沖縄アジアチャイルドサポート代表理事  
池間哲郎氏 講演会

### 閉ざされた“いのち”たち

懸命に生きるアジアの子ども達は今・・・。

- 日時 2005年10月8日(土) 14:00~16:00
- 会場 名古屋市教育センター 講堂  
名古屋市熱田区神宮3-6-14 TEL 052-683-6401
  - 地下鉄「伝馬町」下車2番出口徒歩5分
  - 名鉄「神宮前」下車徒歩5分
  - JR「熱田」下車徒歩10分
- 入場無料
- 共催 NPO法人日本ホリスティック医学協会中部支部  
国際ロータリー第2760地区
- 後援 愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/(社)愛知県看護協会
- 申込み 事務局(長谷部) 〒491-0905 一宮市平和1-2-13  
問合せ TEL 0586-46-1273

\*以下、全国中学生に池間哲郎氏講述録を贈る会発行「閉ざされた世界の中で懸命に生きる子どもたち」より抜粋・改変

#### 貧しさが原因で毎日4万人以上が死んでいる

世界には約63億の人々が暮らしています。そのうちの20%程度、約13億人が私たちのような豊かな国日本、アメリカ、ヨーロッパなどに暮らしています。そして残り80%、約50億人はアジアやアフリカなどの貧しい国々に暮らしています。開発途上国といえます。この途上国の人々に、大変深刻な貧しさの状態がずっと続いているんです。・・・食べ物を買うことができない、あるいは病気になって薬さえも手に入れることができない。こんな状況で死んでゆく人々が、毎日4万人以上います。この亡くなっていく人々の90%以上が子供たちです。なぜ子供でしょうか。非常に単純です。子供は小さくて弱いからです。・・・世界で最もぜいたくな国民は、日本人とアメリカ人だと言われています。それも異常なほどだと悪口もよく言われます。どういふことかと言えば、世界人口の7%にも満たないたったそれだけの人達で、世界の食糧とエネルギーの半分近くを消費しています。ましてや日本人の食卓に出てくる食糧のうちの2割から3割は残飯として捨てていると言われています。これも間違っていると思います。

#### スモーカーマウンテン(煙の山) 15歳まで生きられるのは3人に1人

フィリピンが一番大きな町、マニラの北の方にあるトンド地区、ここにゴミの集積場があります。自然発火でゴミに火がつき、煙が一日中充満しています。だからスモーカーマウンテン、煙の山と呼ばれているのです。当時3万人以上の人々がムシロのようなもの、あるいはトタン、ベニア板、ダンボール箱で小屋を建てて住んでいました。メタンガス、ブタンガス、ダイオキシンなど猛毒のガスがたち込めるゴミの上に小屋があります。臭いです。暑いんです。地面からは常時ウジがわいてきます。・・・ダンブカーに積まれたゴミが降ろされると、ブルトラーがダァーと敷いていきます。子供たちはブルトラーの後ろからついていって、ビニール袋、ビン、スクラップ、アルミ缶、こういうものを拾い、近くにあるリサイクル業者に持ち込みお金に換えてもらいます。朝の5時、6時から10時間近く働いてもらえるお金は日本円で50円程度です。生きることが難しい。15歳まで生きる子は3人に1人だといわれています。ほとんどが死んでゆく。しょうがないですね、この環境では・・・。

#### マンホールチルドレン 大人に怯える子供たち

モンゴルの首都ウランバートルは、世界でも最も気温の厳しい町です。冬になるとマイナス30度は当たり前です。郊外の火力発電所から伸びる、余熱を利用した暖房用のお湯の送水管があるマンホールが町のあちこちにあり。地上はマイナス30度、捨てられ孤児となった子供たちが生き延びる場所はこのマンホールの中しかないのです。私はいろんな体験してきましたが、ここに入った時にはがくぜんとしました。臭いです。これフラッシュをたいているから明るく見えるけど、本当はもっと暗い。汚水がいっぱい溜まっており。ゴミが散乱していました。・・・みんなこれをよく見て。これは決して動物ではありません。人間です。それもあなたたちよりもずっと小さな子供たちです。私が中に入ると「こわいっ」って泣いている子や震えている子もいました。なぜだと思う？この子供たちは毎日のように、大人たちから殴られたり、蹴られたり、暴力を受けているんです。衣類を届けに来たことを告げると彼らは安心してくれました。・・・女の子たちは、男の子たちよりもずっと悲惨です。こんな娘たちに対する性暴力が深刻化しています。14歳の少女がこのマンホールの中で、ねずみに囲まれて赤ちゃんを産んだそうです。大人たちはだれも助けてくれなかった。だから少女も赤ちゃんも死にました。・・・12歳の子供に「早く人間を終わりたい」って言われました。つまり、死にたいという意味です。

#### お父さん、お母さん、私を売らないで

タイの奥地、山岳民族を訪ねたときのことで。そこには恐ろしいぐらいの貧しさがありました。大部分が農業で暮らしています。この地域は4月から9月にかけて雨季があつて、家族が餓死するほど追い詰められるときがあるんです。お父さん、お母さん、あるいは家族が生き延びるために、ちょうどあなたたちのような中学生くらいの女の子たちが売られていきます。この村の少女たちは17歳までに半分以上が売られるそうです。実は、この少女たちはまだ性の意味を知りません。しかし自分が何をしに売られていくかはよくわかっています。売春婦です。エイズという病気に感染して死ぬ可能性が非常に高いこともわかっています。村に帰るときはエイズが発病して死ぬときです。この子たちはこの運命を受け入れるのです。あるときチェンマイで売られてゆく少女に、「もしかしたらエイズにかかって死ぬかもしれないね」って聞いたら、「お父さん、お母さんのためだからしょうがないよね」と言って笑うんです。いくらなんでもひどすぎると思いませんか。